



デジタル版《33時間目》

広島市歯科医師会キャラクター「ハハ姉妹」

歯ならびは、いつ治すの？

6歳ごろになると、奥歯（6歳臼歯）が生え始め、前歯も永久歯に交換していきます。この頃になると成長発育を利用した治療効果も得やすいため、治療を始めることができます。このような歯ならび・咬み合わせの場合、早めに治しましょう！



上下のあごの成長量や位置・形に問題があるため、個人差はありますが、上あごの成長時期である**6歳から9歳ごろまでに治療を始めることが望ましいです。**

歯ならびを治すのは大人になってからでもできます。しかし、あごの成長が終わってから治療を始めると時間がかかりますし、大人になってから手術をしないといけない場合もあります。**あごの成長を利用できる小学校低学年～中学年のうちに子どもの時期の矯正治療を始めましょう。**

歯医者さんからのメッセージ

矯正治療を始める時期は、歯ならびの状態によって大きく異なります。矯正治療が必要かどうか？始めるのであればいつ頃が良いか？自分で判断するのは難しいかと思しますので、一度かかりつけの歯科医院で相談してみましょう。

8020
80歳になっても
20本以上自分の
歯を保とう

